



# 学校だより

令和6年2月13日  
 福生市立福生第三小学校  
 校長：浅倉 宏之  
 住所：福生市牛浜162  
 電話：551-0249

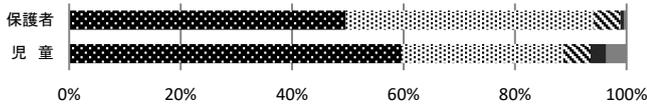
<http://fussa-3e.hs.fussa.school/>

## 学校評価アンケートの結果について

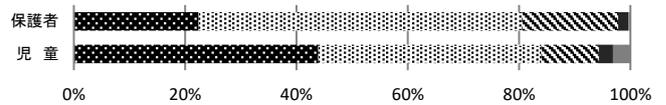
2学期に保護者の皆様に御協力をお願いいたしました「学校評価アンケート」の結果がまとまりました。今回の回収率は**67.0% (昨年度比+0.7%)**でした。保護者の皆様よりいただいた貴重な御意見を、よりよい学校づくりに生かしていきたいと思っております。

そう思う
  だいたい  
 そう思う
  あまり  
 思わない
  思わない
  わからない

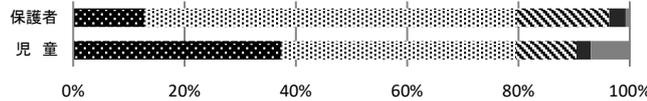
1. お子さんは、学校生活を楽しんでいると思う。



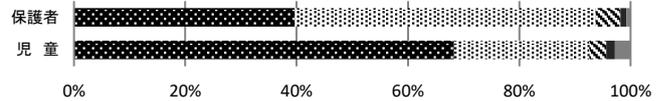
2. お子さんは、あいさつがしっかりできる子であると思う。



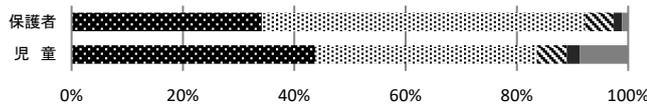
3. お子さんは、温かい言葉、正しい言葉づかいができていますと思う。



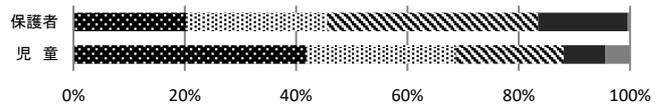
4. お子さんは、友達と仲良く過ごせていると思う。



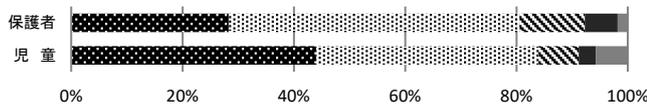
5. お子さんは、思いやりの気持ちが育っていると思う。



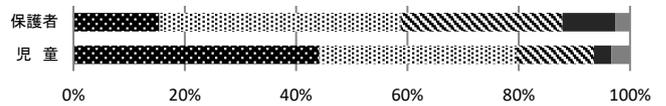
6. お子さんは、読書の習慣が身に付いていると思う。



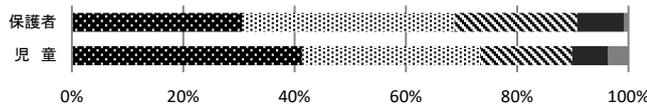
7. お子さんは、基礎的・基本的な学力が身に付いていると思う。



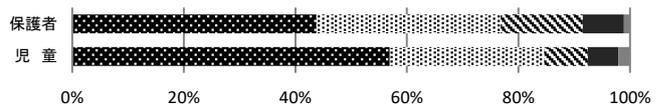
8. お子さんは、難しい学習や課題に出会ったとき、根気強く最後まで取り組むことができていると思う。



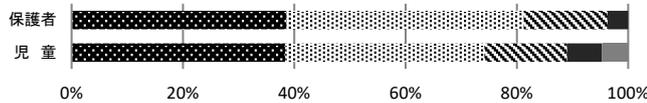
9. お子さんは、毎日家庭学習に取り組んでいると思う。



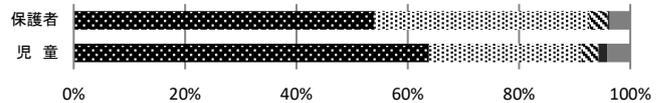
10. お子さんは、体を動かすことを楽しみ、進んで運動していると思う。



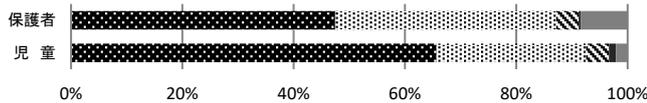
11. お子さんは、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身に付いていると思う。



12. 教職員は、子供たちのよさや頑張りを認めてくれていると思う。



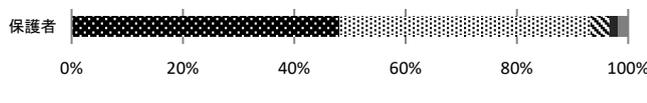
13. 教職員は、子供たちにとって、分かりやすい授業をしていると思う。



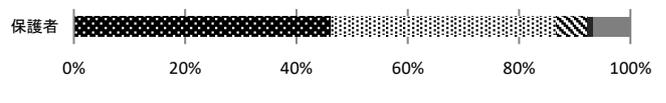
14. 学校は、教育方針や教育活動の様子を分かりやすく伝えていると思う。



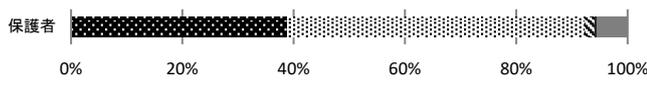
15. 学校は、行事や授業公開・保護者会の実施時期や内容を適切に設定していると思う。



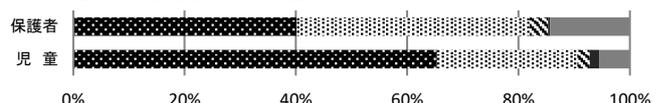
16. 学校は、家庭との連絡や相談を適切に行っていると思う。



17. 学校は、交通安全や防災、不審者への対応など児童の安全についての配慮ができていると思う。



18. 学校は、CS(コミュニティ・スクール)として、地域やPTAと連携して教育活動を行っていると思う。



項目	集計結果に対する学校の見解
1	保護者が94%、児童が89%の肯定的回答となりました。児童一人一人にとって、学校が安心して楽しく学べる場となるよう、更に各教育活動の創意工夫に努め、全児童が学校生活を楽しめることを目指します。不安や悩みを抱えている児童には、保護者の方と連携して迅速に対応していきます。
2	保護者・児童とも肯定的回答が80%以上となりました。今年度、新たに「あいさつレベル⑤」を取り入れ、児童自身にあいさつの状況を振り返らせ、意識化を図りました。小中学生が一緒に取り組む「あいさつ運動」も行いました。来年度も、あいさつの定着に向けた指導を重視していきます。
3	保護者・児童とも肯定的回答が80%を若干下回りました。学校公開後のアンケートで「児童の言葉遣いで乱暴な面が見られる」との御意見をいただくこともありました。毎月の月目標にある「言葉遣い」の指導を丁寧に行い、児童が温かく丁寧な言葉遣いを身に付けられるようにしていきます。
4	保護者・児童とも肯定的回答が93%となりました。友達と仲良く過ごせているかは、児童が学校生活を楽しみ過ごすための大きなポイントとなります。来年度は、毎学期の初めに「いじめ防止」に関する授業を全学級で行い、いじめがなく友達と仲良く過ごせるように指導を徹底していきます。
5	保護者が92%、児童が84%の肯定的回答となりました。児童が思いやりの気持ちを育ていけるように、道徳を中心に全教育活動で「心の教育」を推進していきます。また、たてわり班活動や幼保小交流、地域との交流等、異学年・異年齢との交流活動の一層の充実・改善にも努めていきます。
6	保護者が46%、児童が69%の肯定的回答で低い数値となりました。読書習慣は、ここ数年の本校の課題ですが、残念ながら十分な改善に至りませんでした。今後は、1月より始まった「ふっさ電子図書館」の利用も推奨する等、児童の読書環境の充実を図り、読書習慣の定着を目指していきます。
7	保護者が81%、児童が84%の肯定的回答となりました。各種学力調査でのC・D層の児童の割合が高いことが、学力における本校の課題となっています。日々の授業改善はもちろんのこと、個に応じた丁寧な指導、ドリルパーク等を活用した習熟の徹底、放課後学習の実施等で改善を図っていきます。
8	保護者が59%、児童が80%の肯定的回答で、保護者で低い数値となりました。児童が難しい学習や課題にも、根気強く最後まで取り組めるよう、課題解決に向けて児童が見通しをもてるような指導へと改善を図っていきます。今後も「詩の暗唱」を重視し「やればできる」体験も積ませていきます。
9	保護者が69%、児童が73%の肯定的回答で、低い数値となりました。家庭学習の定着については、全体的に二極化が見られています。今後は、配布した「家庭学習の手引き」の活用を推奨したり、家庭学習について保護者会や個人面談等で話題にしたり、改善に向けて家庭と一層連携していきます。
10	保護者が77%、児童が84%の肯定的回答となりました。体育学習の充実だけでなく、保健指導も保健センター等と連携して充実させていきます。来年度もなわとび週間や持久走週間を設定し、全校で体力づくりに取り組める機会を設定し、運動する楽しさを児童が実感できるようにしていきます。
11	保護者が81%、児童が73%の肯定的回答となりました。朝、睡眠不足で眠そうな顔で遅刻してくる児童、朝ごはんを食べていないため途中で空腹を訴える児童が一部見られています。「早寝・早起・朝ごはん」の重要性を保健指導等で児童に改めて指導し、家庭と連携して改善を図っていきます。
12	保護者が93%、児童が91%の肯定的回答となりました。本校では、児童一人一人を大切にし、より良い成長につなげていくために、「褒める」「認める」「励ます」指導を特に重視してきました。引き続き、児童の頑張りやよさを教員がしっかりと見取り、児童に声をかけていきます。
13	保護者が87%、児童が93%の肯定的回答となりました。分かりやすい授業を行い、児童に確かな学力を身に付けさせることは教員の責務です。今後も、教員の研修を充実させるとともに、授業改善推進プランに沿った授業改善を進め、児童の学力向上に向けて、日々研鑽を重ねていきます。
14	保護者が89%の肯定的回答となりました。今年度、2学期に学校HPをリニューアルし、1月下旬より保護者連絡ツール「tetoru(テトル)」の利用もスタートしました。学校の教育活動を積極的に発信するために学校日より等のお便りに加え、これらの連絡ツールも積極的に活用していきます。
15	保護者が93%の肯定的回答となりました。学校の設定時期等におおむね御賛同いただけていると考えます。来年度も年6回の学校公開と3回の保護者会、夏休み中の個人面談を予定しています。開かれた学校づくりに向けて、多くの方に学校へ足をお運びいただけるように内容も検討していきます。
16	保護者が87%の肯定的回答となりました。学校では、御家庭との連絡や相談は、迅速かつ適切に、必要に応じて組織的に行い、保護者の方の信頼を損なうことがないよう心掛けています。御心配なことや御質問は、いつでも学校へ御連絡ください。スクールカウンセラーとの面談もできます。
17	保護者が92%の肯定的回答となりました。防犯上の観点から11月より、保護者の方に来校者用の名札の着用をお願いし、御協力をいただいています。児童には、毎月の避難訓練や安全指導等を通して生活安全・交通安全・災害安全について理解し、適切な行動を取れるように指導していきます。
18	保護者が82%、児童が85%の肯定的回答となりました。CSとして5年目となり、様々な教育活動を保護者や地域の皆様のお力添えのもと、進めることができています。CS立ち上げ当初より認知度も上がってきています。来年度は学力向上の取組として、CS主催で算数検定を2回実施予定です。

◎保護者アンケートでは18の項目のうち9項目で、児童アンケートでは14項目のうち9項目で、85%を上回る肯定的回答をいただけたことは、学校として嬉しく思います。一方で、読書習慣と根気強さの項目は、特に低い数値となりました。改善に向けて検討を重ねてまいります。今後も保護者・地域の方と連携を取りながら、より良い学校づくりに努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。